

地方独立行政法人山口県産業技術センター評価委員会（第24回）の審議要旨

- 1 日 時 平成30年11月13日（火） 10:00～11:10
- 2 場 所 県庁 第5会議室
- 3 出席者 堤委員長、上田委員、加登田委員、中島委員

【審議事項】

- ①第2期中期目標期間終了時における業務・組織全般の検討について
→ 事務局から説明
《質疑等なし、法人の組織等継続について各委員了承》
- ②第3期中期目標（案）について
→ 事務局から説明
《質疑応答》 ●委員 ○法人
●成長産業の育成・創出に向けた支援と、中小企業のものづくり力の高度化で内容が重複していないか。
○項目は分けているが、これらは一体となって連携しながらイノベーションを進めていくことを想定している。各々の取組は連動するものと考えている。
《目標案の内容は「案のとおりとすることが適当」として、意見を集約》
- ③第3期中期計画（素案）
→ 法人から説明
《質疑応答》 ●委員 ○法人
●コーディネーターは今後も活用されるため、計画の中に「コーディネート機能」について明記した方がよい。
○イノベーション推進においてコーディネーターの役割は大きい。明示的にコーディネート活動について記載する。

●県内企業だけでなく、県にゆかりのある企業等ネットワークを広げていくことは意味がある。将来的に山口県への企業立地にもつながる。
○ネットワークづくりについても、計画中にもう少し明確に記載したい。

●職員の教育については記載があるが、採用に関する記載がない。人材確保が厳しい中、優れた職員を採用するためのアプローチをやっていただきたい。
○センターの魅力の見える化に取り組みたい。引き続き企業や大学、高専からのインターンシップ受け入れ等も行っていきたい。

●労働人口が減少する中、女性や高齢者による生産性向上を目指す視点での技術開発やイノベーションが重要。
○IoT関係などによる、女性や高齢者等の生産性向上を進めるためには、研究会活動だけでなく、各分野の研究者が意識を持って取り組む必要がある。
《計画は、いただいた御意見を参考に、次回の評価委員会において審議》